

営農支援課、春日部地区担当TACの山口です。

昨年9月より取り組みを開始しました、業務用玉ねぎの生産についてご紹介いたします。

業務用玉ねぎは、スーパー等で販売されているカット野菜やコロツケなどの加工品など、さまざまな用途に使用されます。現在は北海道で大半が生産されておりますが、北海道では8月以降の出荷となるため、6月～7月分の玉ねぎは十分な確保ができず国外産に頼っているのが現状です。そのため、国産比率の向上に向けた取り組みは販売単価が優遇されており、内容によっては助成金の措置もございます。

春日部地域では昨年度より2名の生産者が業務用赤玉ねぎの生産に取り組んでおり、6月には収穫・出荷を迎えます。

早生の品種は水分が多く貯蔵がきかないため、晩生の品種を作付けし、直径8cm以上の規格を確保するため、株間を広くとり植付をします。

生産が不足している業務用野菜は玉ねぎ以外にもございます。今後も農業所得向上に向け、消費者需要があり販売単価が安定した作物を提案して参ります。

